

■町田久成 官僚。日本最初の博物館を創設し、博覧会事業に治績をあげるも、突然退職し、のち僧正になった。

まちだひさなり

適塾ホヰン・ 1838＝ 鹿児島城下で、島津三名家の薩摩国日置郡石谷領主町田久長の長子に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 7歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1847＝ 9歳：

若くして学を好み、

ペリー来航・ 1853＝15歳：

長じて藩主島津斉彬に仕え、

松下村塾・ ・ 1856＝18歳：母が死去。藩命で江戸の昌平黌に学んで、有馬新七と出会う。また、平田鋏胤に入門し国学を学ぶ。

五ヶ国条約・ 1858＝22歳： 藩主島津斉彬が急逝し、島津久光に実権が移ると、

安政の大獄・ 1859＝21歳： 鹿児島に呼び戻され、小性組番頭を経て、

桜田門外変・ 1860＝22歳：

8月18日政変 1863＝25歳： 藩の大目付に拔擢される。

禁門の変・ ・ 1864＝26歳： 小松帯刀・大久保利通らと献策、洋学教育機関の開成所の設立、学頭になる。禁門の変では六郷隊隊長。

薩摩藩土密航1865＝27歳： 藩命に従い、森有礼・吉田清成ら薩摩藩英国留学生(17名)の取締としてイギリスに密航留学。

大政奉還・ ・ 1867＝29歳： 滞欧中に開催されたパリ万国博覧会の開会式に、幕府と並び佐賀藩とともに参加していた薩摩藩の使節・岩下方平一行らと出席後、ロンドンを出発し、鹿児島に帰着。

明治維新・ ・ 1868＝30歳： 戊辰戦争で、長崎の治安回復につとめ、戦後、新政府に出仕。外国官判官事となり、

戊辰戦争終・ 1869＝31歳： 外務省が設置されると、外務大丞となり、イギリス王子来日に接遇役をつとめるが、謎の謹慎処分後、

初の日刊新聞1870＝32歳： しぶしぶ大学大丞に異動、大学南校に物産局を設置、集古館建設を建議し、湯島聖堂が博物館となる。

廃藩置県・ ・ 1871＝33歳： *文部省設置に伴い文部省博物館となって、文部大丞・初代博物館長となる。

学問のすすめ1872＝34歳： 澳地利国博覧会御用掛に任ぜられる。湯島聖堂で博覧会開催後、蛸川式胤・内田正雄らと東海・近畿地方

古社寺宝物調査を行い、名古屋城保存等を建議するなど文化行政に専念、旧昌平坂学問所に書籍館設置。

明治6年政変 1873＝35歳： 博覧会事務局で博覧会。大博物館建設の必要、続いて予定地上野を建議。内務省設置で、内務大丞。

佐賀の乱・ ・ 1874＝36歳：

初の民間工場1875＝37歳： 博覧会事務局を東京博物館と改称。大久保利通により博物館が内務省に移管、内務大丞・内務大書記官と

西南戦争・ ・ 1877＝39歳： なる間、万国・内国勲業博覧会など博覧会事業に尽力し、

大久保暗殺・ 1878＝40歳： *第1回内国勲業博覧会が開催され、大人気となる。

琉球処分・ ・ 1879＝42歳： 結婚後、岩倉具視・大隈重信に接触し、皇室を錦の御旗にして、再開に漕ぎ着け、

明治14年政変1881＝43歳： 長男と妻は既に無く、かつての島津久光の江戸別邸と思われる屋敷で、内室千代が長女・次男・三男の世話

新体詩抄・ ・ 1882＝44歳：

岩倉具視没・ 1883＝45歳： *農商務省に移管後、上野に博物館が開館し、初代博物館長となるも、解任され、農商務大書記官を経て、

内閣発足・ ・ 1885＝47歳：

元老院議員となったが、突然辞職。

国民之友始・ 1887＝49歳： 長男と妻は既に無く、かつての島津久光の江戸別邸と思われる屋敷で、内室千代が長女・次男・三男の世話するなか、暮らしていたが、

帝国憲法発布1889＝51歳： 島津久光が死去すると、千代を出家させ、

帝国議会議始・ 1890＝52歳： 三回忌の供養に合わせて園城寺で剃髪し、2男も剃髪させて同行させ、諸国を回遊したのち、

大津事件・ ・ 1891＝53歳： 東京に戻って、本邸・別邸を処分。元老院議員を辞職後、天台宗寺門派から大僧都の位階を受けて、園城寺

大本教・ ・ 1892＝54歳： 塔頭光浄院住職となり、園城寺の依頼で崇福寺を復興させて、その住職も兼務、

郡司千島探検1893＝55歳： 叙勲の内示受けるも辞退。以後、念仏三昧の生活を送るなか、上野を訪れ、

日清戦争始・ 1894＝56歳：

白馬会・ ・ 1896＝58歳： 体調を崩し、東京上野の明王院に住して療養に努めるうち、

八幡製鉄始・ 1897＝59歳： 旧明王院跡地に帝国図書館の建設が決まった知らせを直後、_没した。